



令和5年 12月 5日
発行者 横浜市立篠原中学校
校長 濱崎 利司

12月号

“師走”です…

12月になりましたが、本校ではインフルエンザ等による欠席及び体調不良の生徒が多く、学級閉鎖となるクラスが出ております。前号でも書きましたが、皆様、くれぐれもお気をつけください。

さて、タイトルに“師走”と書きました。元々の意味は違うようですが教師が走る、つまり先生方がタイヘン忙しい!と私はとります。実際、12月は三者面談から25日(月)の全校集会まで慌ただしい日々となります。内情を言うと、3年生の進路が“大詰め”となります。受験(検)は来年1月から始まりますが、その前に受験校とか書類作成とか、いろいろと決めること・やることが多く、また重なります。とくに、3年学級担任の職責は重く、生徒の今後の人生がかかっている、と言っても決して大袈裟ではありません(ワタシも何度も経験しました。あの緊張感・プレッシャーはハンパじゃありません。断言できます!)

また、今回から公立高校受検制度が大きく変わります。それは、インターネット出願です。昨年まで願書を紙で作成し、公立高校へ提出していましたが、教員・生徒保護者が専用サイトから直接入力するやり方となります。私立高校の多くは、既に“ネット出願”は導入済みで、ここ数年で一気に広まりました。その“余波”が公立高校にも、という感じです。時代の流れと言えばそこまでですが、何事も“初回”には不安と心配が伴います。「個人情報流出は大丈夫だろうか」「サイトにすぐ入れるだろうか」「申請後入力ミスが判明した場合、どう直せばいいのか」etc. きりがありません…。ましてや高齢で、ネット時代に慣れない・適応できない校長の私は「どうしよう?」と不安の日々です(笑)。

全国中学生人権作文コンテスト横浜市大会で“トップ賞”である「横浜市長賞」を が、税作文で「神奈川納税貯蓄組合連合会会長優良賞」を がそれぞれ受賞しました。おめでとうございます!



2学年キャリア学習講話

11月7日(火)の総合的な学習の時間で、体育館にて「創作料理メゾン HANZOYA」のオーナーであり本校卒業生でもある加藤英二さんをお迎えしてキャリア学習講話が行われました。本校では新商品開発学習を行います。今年度はオリジナルパンの開発学習を行います。活動を行うにあたり、メニューやレシピ考案のスペシャリストである加藤さんに「働くことの素晴らしさや大変さ」といった話を軸に商品開発についてもお話いただきました。



「自分が納得いくものが作れたとしても、お客さんに手をとってもらえなければ意味がない。」という言葉から、作る時に客観的に見たり、他人の意見を取り入れたりすべきだと学びました。自分が商品を作る時、「主観」よりも「客観」を大切にしていきたいです。

非告知の避難訓練を実施

11月14日(火)、昼下がりの休み時間、生徒には事前に知らせない避難訓練(火災)を実施しました。想定は『1階保健室から出火。1階の階段下はシャッターが閉まっているので昇降口からは外へ出られない。非常口から屋外へ出る』というもの。先生の指示はありません。振り返り用紙から、避難時の様子がうかがえます。「放送を聴くために静かになった」「階段を譲り合って、冷静に避難できた」「ハンカチで口と鼻を覆って、姿勢を低くした」など、訓練とわかってからもしっかりと意識を持って臨んでくれた生徒が大多数でした。中には「訓練だとわかって気が緩んだ」「友達とアイコンタクトして笑いあった」「しゃべってしまった」という声もありましたが、「次回はそういうことのないようにしたい」と結んでいました。何より「声を掛け合った、助け合った」という振り返りがいくつもあり、さすが篠中生、頼もしさや温かさを感じました。いくつか紹介します。



- ・周りを見る限り、ほとんどの人がハンカチで口をふさいでいてよかった。一部で話し声が聞こえたが、緊張感があったのでよかった。話し声をゼロにしたい。
- ・「保健室はそっちだから、反対の階段から降りた方がいいんじゃない？」という声かけがあって、中三になるとここまでみんな考えて動いているのかと思い、すごいなと思った。三年生の窓は全部閉まっていて、中三らしくて良いと感じた。

天文学の授業～8組～

11/21(火)に国立天文台アストロバイオロジーセンターの日下部さんが来校し、天文学の講義をしてくださいました。宇宙には生物が存在するのかを専門に研究している日下部さんは、地球と他の惑星との違いや大きさなどの関係を天体観測ツールの「SORA」を使って説明してくれました。生徒たちは「自分ってこんなに小さいのかぁ」としみじみと話していました。肝心の地球外生命体については、いるも正解、いないも正解と、いう回答でモヤモヤしますが、好奇心をかき立てる講義で締めくくってくれました。



ひまわり通信～生徒会～

先日のフェスタで、私たち生徒会は防災すごろくを実施しました。参加者たちは、すごろくをしながら防災に関する知識を深めました。笑顔あふれる中、防災に対する理解が広がり、実践的なスキルが身についたのではないかと思います。皆さんも、家庭で防災について考える機会を設けてみてはどうでしょうか？災害が発生した際、家族が安全であるためにはどのような行動が必要かを共有し合い、非常用キットの備えや避難経路の確認など、具体的な対策をとともに考えておくことで、家庭での防災意識が高まり、災害に対する備えがより一層進むのではないかと思います。

